

第17回 練馬まちづくり「歴史と文化講座」

～生誕150年の漱石文学を訪ねて～

夏目漱石は、1867（慶応3）年2月9日生まれ。1916（大正5）年12月9日没。日本の小説家、評論家・英文学者。本名 夏目 金之助（なつめ きんのすけ）。江戸の牛込馬場下横町（現在の東京都新宿区喜久井町）出身。俳号は愚陀仏。大学時代に正岡子規と出会い俳句を学ぶ。帝国大学（現・東京大学）英文科卒業後、東京専門学校（現・早稲田大学）英語講師となる。松山で愛媛県尋常中学校教師、熊本で第五高等学校などを務めた後、イギリスへ留学。帰国後、東京帝国大学講師として英文学を講じながら「吾輩は猫である」を雑誌『ホトトギス』に発表。これが評判になり「坊っちゃん」、「倫敦塔」などを書く。その後朝日新聞社に入社し「虞美人草」、「三四郎」などを掲載。当初は余裕派と呼ばれた。「修善寺の大患」 後は、『行人』、『こころ』、『硝子戸の中』などを執筆。「則天去私」（そくてんきょし）の境地に達したといわれる。晩年は胃潰瘍に悩まされ「明暗」が絶筆となる。

<当日のコースご案内>

大江戸線練馬駅(午前9時発)～東京都庁で同じ大江戸線で乗り換え～**牛込柳町駅(9時40分到着)**
下車、北東横口から大通りを北に向かい約600～700位歩いて行けば、やがて左に細い道を曲がります(漱石公園通)、歩く途中の右側に見える「漱石山房記念館」が見えてきます。**漱石山房記念館見学(10時10分～10時40分)**。10時45分発小倉酒店(堀部安部衛が寄った酒屋)～隣の**漱石生誕地の碑～穴八幡宮(11時10～30分)**会津八一記念博物館見学(大隈記念室・11時40分～12時10分)～坪内逍遙演劇博物館見学(12時20分～12時40分)。早稲田学内を北西に抜け～**堀部安部衛の碑～明治元年創業の「八幡鮎」で昼食後(13時00分～14時)**。**現地で自由解散(東西線早稲田駅)**

- ◎と き : 2017年11月12日(日)大江戸線 練馬駅を午前9時出発。
- ◎ところ : 大江戸線練馬駅改札口前・午前8時50分集合(現地で2時頃解散)
- ◎定 員 : お申込み先着順 約20名(小雨決行)
- ◎参加料 : 500円(テキスト代含む)
- ◎テーマ : 生誕150年の漱石文学を訪ねて
- ◎講 師 : 郷土史家 葛城 明彦氏

【講師プロフィール】東京都杉並区生まれ。早稲田大学教育学部社会科地理歴史専修卒。
練馬郷土史研究会、練馬区地名史研究会、室町時代の豊島一族について特に詳しく、好評「決戦 豊島一族と太田道灌の闘い」の著者でもある。

◎お問い合わせ・お申し込みは、南田中のまちを考える会(下河)
TEL&FAX03-5393-7381 e-mail h.shimogawa@kind.ocn.ne.jp

主 催 南田中のまちを考える会

~~~~~  
歴史と文化講座 生誕150年の漱石文学を訪ねて(11月12日の申込書)

◎ご希望の方は、電話、FAX、メールで 03-5393-7381で、早めに申し込み下さい

◎住所 : \_\_\_\_\_区 \_\_\_\_\_町 \_\_\_\_\_丁目 \_\_\_\_\_番 \_\_\_\_\_号 \_\_\_\_\_室

◎氏名 : \_\_\_\_\_ TEL&携帯 \_\_\_\_\_